

## “今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ☆最初のISS構成要素打上げから3154日経過しました
- ☆第15次長期滞在クルーのISS滞在は91日  
(クレイトン・アンダーソン宇宙飛行士は29日)経過しました
- ☆ISS動向

第15次長期滞在クルーのフョードル・ユールチキン、クレイトン・アンダーソン両宇宙飛行士は、彼らが米国時間7月23日に実施する予定の船外活動に向けて米国製宇宙服の整備を終えました。この船外活動では、ISSのトラス上を移動するモバイルトランスポータ(台車:MT)への予備電力を復旧させる作業などを行う予定です。

また、ユールチキン、オレグ・コトフ両宇宙飛行士は、6月13日に停止し現在は復旧しているロシアのコンピュータに関する調査を引き続き行いました。原因はまだはっきりしていませんが、これまでの調査でコンピュータの二次電力系のコネクタに腐食や変色が見つかるなど、いくつか重要な情報は得られており、今後も引き続き原因究明作業が行われます。



NASA無重量環境訓練施設  
(Neutral Buoyancy Laboratory:  
NBL)で船外活動訓練を行うア  
ンダーソン宇宙飛行士(2006年  
11月)(提供:NASA)

## “スペースシャトル・エンデバー号(STS-118)の準備状況”

NASAケネディ宇宙センター(KSC)では、スペースシャトル「エンデバー号」(STS-118ミッション)の飛行に向けて準備が進められています。スペースシャトル組立棟(Vehicle Assembly Building: VAB)では、米国時間7月3日に外部燃料タンク(External Tank: ET)への結合作業が行われました。エンデバー号は米国時間7月10日以降に射点へ移動し、8月上旬に打ち上げられる予定です。

また、スペースシャトル輸送用航空機(Shuttle Carrier Aircraft: SCA)の背に乗せられて米国時間7月3日にKSCに到着したスペースシャトル「アトランティス号」(STS-117ミッション)は、帰還後の整備・点検と今年12月のSTS-122ミッションに向けた準備を行うため、オービタ整備施設(Orbiter Processing Facility: OPF)に格納されました。



エンデバー号のETへの結合作業



SCAからの切離し



OPFへ格納されるアトランティス号

号」(STS-117ミッション)は、帰還後の整備・点検と今年12月のSTS-122ミッションに向けた準備を行うため、オービタ整備施設(Orbiter Processing Facility: OPF)に格納されました。

(写真は全てNASA提供)

## “インフォメーション”

## ☆ 星出宇宙飛行士ジャーナル “Tsukuba, Station, S/G1” 開始！

星出宇宙飛行士が自ら綴るジャーナル“Tsukuba, Station, S/G1”が始まりました。1J(STS-124)ミッションに向けた訓練から日々の生活の様子まで、多くの話題を掲載していく予定です。皆様からのコメント投稿も可能です。星出宇宙飛行士への応援メッセージや質問などをお待ちしています。

・星出宇宙飛行士ジャーナル“Tsukuba, Station, S/G1” <http://iss.jaxa.jp/astro/hoshide/journal/>



## ☆ 宇宙連詩第2期スタート！



宇宙連詩第2期が始まりました。連詩の題は「星があるの巻」です。詩人の大岡信さんの裁きのもと、2008年の2月まで、公募と寄稿を組み合わせながら、全24詩が編まれていきます。現在、第4詩(3行詩)を公募中です(7月16日(月)午後3時締切)。応募方法やルールなど詳細は以下のページをご覧ください。

・宇宙連詩 <http://iss.jaxa.jp/utiliz/renshi/>

「きぼう」打上げキャッチフレーズ募集中！(7月31日まで) → [http://kibo.jaxa.jp/archive/2007/05/catch\\_phrase.html](http://kibo.jaxa.jp/archive/2007/05/catch_phrase.html)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール [kibo-pao@jaxa.jp](mailto:kibo-pao@jaxa.jp)

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。